

98.1.1 5 小椋先生の初初釜

お茶を教えてもらっている、小椋先生の初釜に呼んでいただきました。

初初釜と書いたのは、去年の2月に釜開きをしたので、初めての初釜で初初としました。

日頃見る点前（お茶を点てる人の行動を点前と呼びます）は、われわれ下手な人の練習ばかりなので、久しぶりに小椋先生の点前を見て、一応できるのではなく、きれいにできるのは大切だなと思いました。練習だと次はどうするのかとか順番がわからなくなったというようなことばかり考えてお茶を点ているので、気持（こころ）に余裕がないのですが、小椋先生のようにいろんなところに気が回っていないと人をもてなすことはできないんだなとも思いました。

お茶もお菓子も、お料理も文字にするのが難しいほどおいしかった。

